

浜益リレーションズ



はまます日記

第1号
発行日
2019/10/10
発行日
NPO法人 ezorock
浜益リレーションズ

■9月30日
この日は朝から浜益のまちを散策し、岩井木さん、朝やら森に入り、さつまいもを収穫した。ハナノイがチとシロタメリイグチとミウサの二がたに。紙香に出てくるさつまいものこたも見てあげたら、中々のは収穫したお米を分けたり、お作業。作業が終わると、夜は焚火をいきました。おもしろい！



お助けにゆめのかとてこいせました！



稲刈り機に乗せてもらうモーター

この日は後藤さん一家に受け入れていただきました。稲崎さんに送ったお米、着いた場所には大きな米の乾燥機が5台並んでいて、米袋がたたくん様まわっていました。規模がすごいとびっくり。軽くあいごつとしたり、鎌を渡され、さつまいもを煮て、じとすぐにトラクに乗って田んぼへ向かいました。この日は稲刈り機3台とトラク3台がフル稼働で稲を刈っていました。私たちは稲刈りの後を歩いて、刈り残した稲やこぼれた稲を拾う路を掃除し、鎌を片手に田んぼの中をぐるぐる歩きました。田んぼの中で秋をたくさん感じました。黄金色になった稲穂と紅葉が始めた山々、遠くに見える黄金山。浜益を見る景色はどろどろにまじりだと思わぬ様子。



おいしいとれたもの！おいしいね！

参加者の声



モリゾー

人生で初めて稲刈り機に乗りました。稼働と乗りました！作業後に食べた肉厚のスイカもとてもおいしかったです。海や田んぼ、山や夕日など、身近に自然がある暮らしは素敵だなと素直に思っています。また、浜益に来たことにも感謝。今度はこちらへ！



ぼん

普段見慣れたものと同じに見えたりとこが浜益の良さだと感じました。今日は、よさ空と海を見ました。二人に空をゆき見上げていたのは、それぞれも気持ちよかったです。また、地域の流しワカボトをいただいた1日でした。



浜益での1日 (9/28 ver)

- 9/27
16:10 札幌からバスで浜益行
→17:45 浜益到着！
みんなでお祝い。夕食
は、海で天体浴し、流し瓦と謎の消えて光を見ました
- 9/28
8:00-15:00 稲刈り
その後 浜益温泉入浴
日瀬海に沈む夕日、夕日を見ながら
車でお散歩。夜はみんなで語り合いました。
- 9/29
8:30 浜益出発 バス → 10:15 札幌着
おつかいまで！



浜益って どんなところ？



札幌から80km、車で1時間30分のところにあり、人口は1300人。高齢化率は55%。石狩市浜益区は2005年の平成の大合併までは「浜益村」でした。ニシン漁が栄えたまちで、「陸の孤島」とも呼ばれ、主な交通手段は「船」。陸路で行くには厳しい山と越えていかねばならないところ。この浜益には、ここの自然が残った。樹齢150年近いイタヤの木、巨大松茸が採れる黄金山、一面に広がる田んぼ、美しい海岸が広がる日本海。週末は夕日。天の川、赤木。根付には無花果、普段、都会の生活では感じられないことがたくさんあります。
浜益リレーションズとは？
以前からつながりがあった浜益と札幌との間に長く関係を結んでいくために今年7月スタートしました。浜益の一軒家を借りて、ここの環境に活動しています。また、稲崎さんに3haほどの山荘を借りて、このように活用したいか、みんなで考えていきます。

活動予定

- 10/2(土)、10/9(土) - 10/10(日)
 - 11/2(土) - 3(日)、11/9(土) - 10(日)
 - 11/16(土) - 17(日)、11/23~24 (岡山県学校いご会)
- 10月11日に予定していた活動日ですが、活動内容は森の整備（薪をみぎわりの活用も予定）や森の活用法と薪ストーブ、浜益2アグリパーク。基本的にバスで浜益に行きます。バスが1日1往しか出ていないため、活動前日の夜に浜益に行かなくてはならないかもしれません。帰ってこられる活動日の朝です。日程によっては車の貸借が可能な場合もあります。活動日に参加したい人は一度相談して下さい！
相談：奥野、ゆめ、か、たにまじり！

浜益でお世話になった人たち

- 稲崎さん**
浜益事務所の方。いつもお世話になっております。今、浜益の家にあるものは、いろいろと準備ができています。お世話になりました。ありがとうございます。
- 後藤さん一家**
3世代で農家さん。お孫さんのケンさんと2922は去年の福島マラソン時に、お世話になりました。2人ともお世話になりました。お世話になりました。お世話になりました。お世話になりました。お世話になりました。
- 小栗さん (お栗さん)**
小栗さんもお世話になりました。いつもお世話になっております。今日の稲刈りと一緒に作業して下さった。ありがとうございます！
- 岩井木さん夫婦**
浜益ではいろいろなことに、稲崎さんや、お世話になりました。お世話になりました。お世話になりました。お世話になりました。
- 吉野さん**
お世話になりました。お世話になりました。お世話になりました。お世話になりました。お世話になりました。

